

寅

大正二四六八十二

大 都 諸 色 御 召 染 物 所

存 照

蓋沖棧地結爲遊濟庵在忽收以次和濟南地植以定年之序
 法是正濟南濟用承り以下思願負取は名はる和對濟用は爲行舟
 以正薩日指船是昌仕高貴分初お州難を仕合も初依く以分
 職方吟候仕多ふとぐ一初以能州濟用は在行舟り其核ふ入流
 濟原に正別と重原ら五仕り別は爲合を了と云り又和是後
 とり毎月あ爰に形より法用かこととたうははあれたのふり所と後
 此の處に地神の地配して事の初と原と決せりて速織方一チ行
 ること知是れはとも此月此のなる合はれり地神若とせりてと名は原
 此の事を知ては成りては所了家中核方は知人様もともは形家
 正成り候も形は好たうとる個はは行りてともははははははは
 正行すりてともは知れともあはれりてともはははははははは
 親とては行年と考之爰沖用是れ作方より核より懸負はははは
 と行そとともはともは原成りて

月 日

あせいとるこ
 ありありと行
 名れり候も
 此の地に掛つ候也
 切りぬぬりて
 名もあはれり
 切りぬぬり

とるこは原も
 正一色とせん
 さいとすと
 原の
 名もあはれり
 切りぬぬり

かじりては原も
 大板
 定着
 京津津津津津
 大和屋文花

小三五七九十一

京都 諸色御召染物所 文庫10-8017-15

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library